

# 令和2年度水生生物調査結果（北陸地方整備局管内）

北陸管内16地点で小・中学生等延べ422人が参加  
きれいな水に評価された地点割合は93.8%

## 1) 水生生物調査とは

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。

この調査は、子供でもわかりやすく、高価な機材などを必要としないことから、誰でも簡単に参加できるという特徴があります。

また、調査を通じて身近な自然環境に接することにより身近な環境問題への関心を高める良い機会でもあることから、小中学生等の参加を得て、昭和59年度から「水生生物調査」を実施しています。

## 2) 調査結果

令和2年度は北陸管内の河川において、10団体、延べ422人の参加を得て、16地点で調査を実施しました。

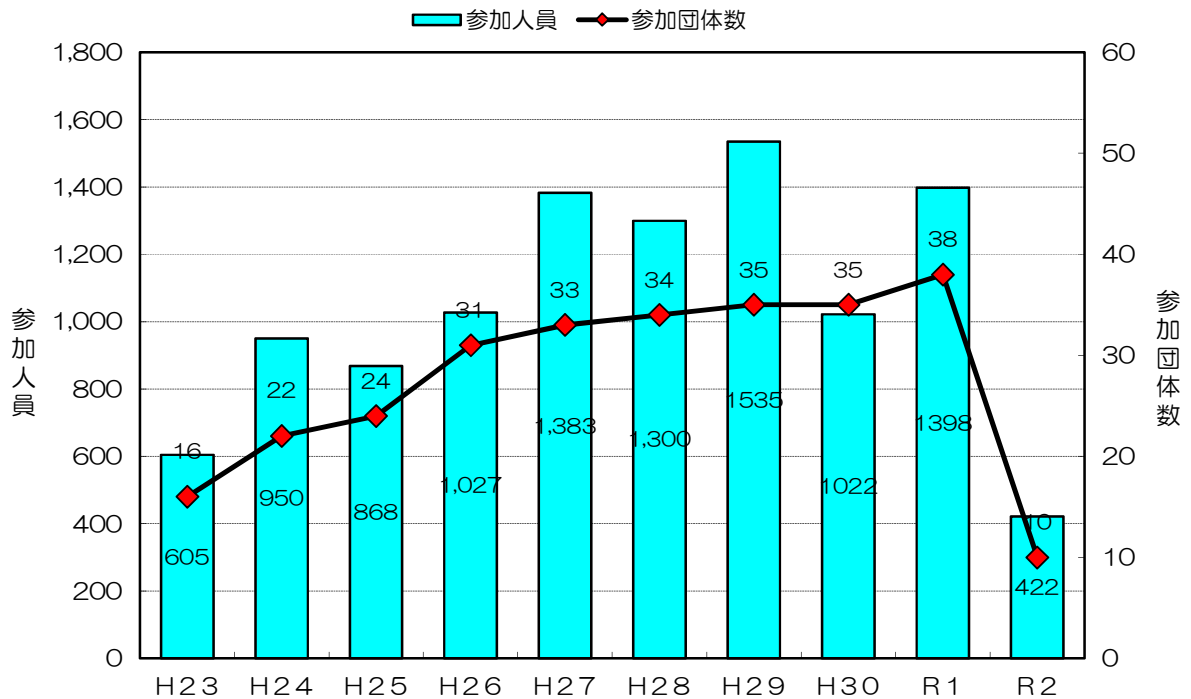
調査の結果、15地点がきれいな水であると評価され、その割合は93.8%になります。

水生生物調査結果（北陸地方整備局管内）

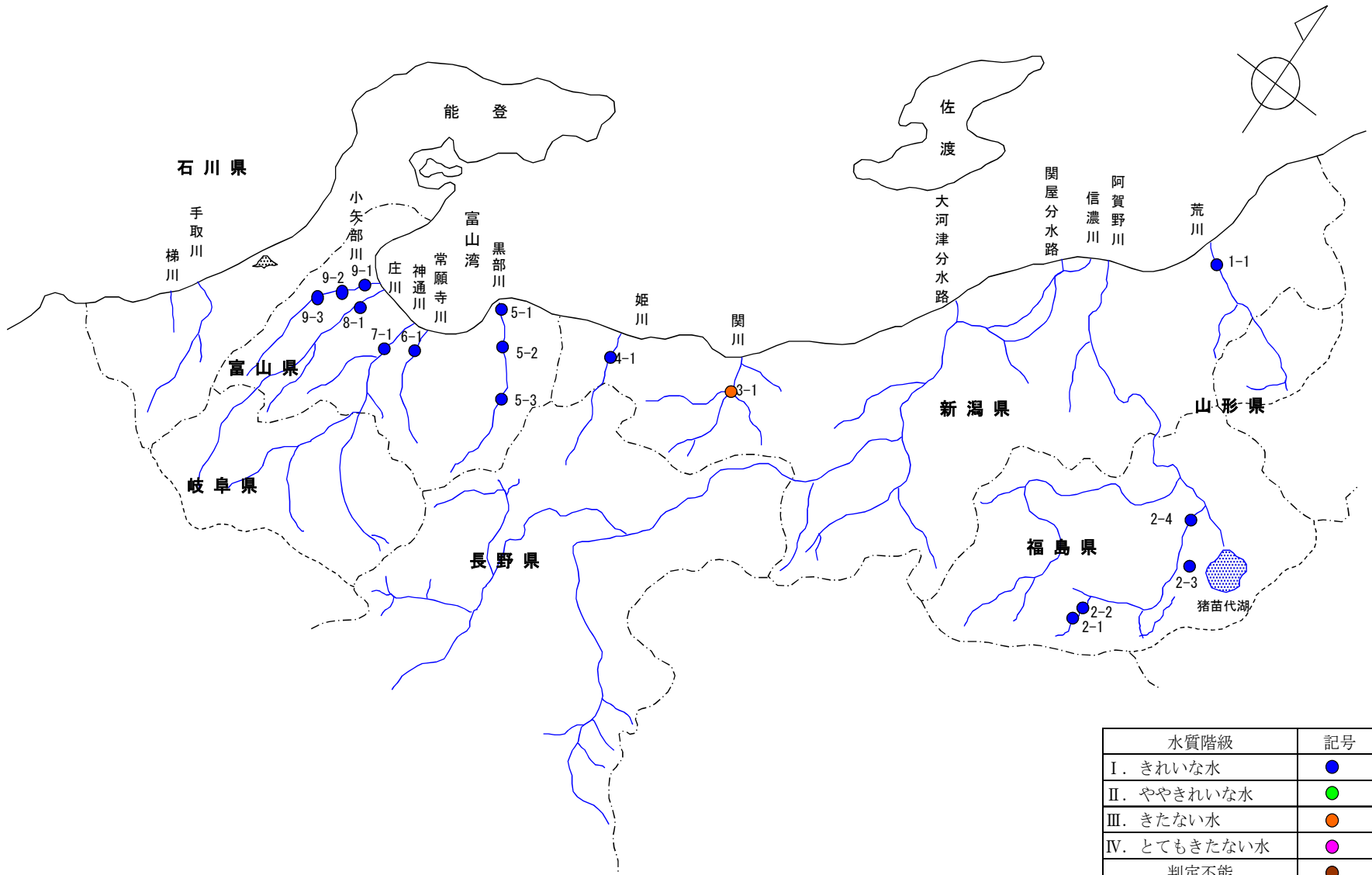
判定内容	令和元年		令和2年	
	地点数	地点割合(%)	地点数	地点割合(%)
きれいな水	31	83.8	15	93.8
ややきれいな水	6	16.2		0.0
きたない水		0.0	1	6.2
とてもきたない水		0.0		0.0
判定不能		0.0		0.0

地点割合は毎年の調査地点が異なる場合があるので、前年度の調査結果と比較出来るものではありません。

## 参加人数・参加団体の推移



# 令和2年度 水生生物調査地点位置図<北陸>



※数字は地点番号を示す





## 参 考

### 水生生物調査

河川に生息するサワガニ、カワゲラ等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。

この調査は、子どもでも分かりやすく、高価な機材などを要しないことから、誰でも簡単に参加できるという利点があります。

#### 〔 指 標 生 物 〕

<b>I. きれいな水の生物</b> カワゲラ類 ナガレトビケラ類 ヤマトビケラ類 ヒラタカゲロウ類 ヘビトンボ フユ類 アミカ類 ナミウスムシ サワガニ ヨコエビ類	<b>II. ややきれいな水の生物</b> コガタシマトビケラ類 オオシマトビケラ ヒラタドロムシ類 ゲンジボタル コオニヤンマ カワニナ類 ○ ヤマトシジミ ○ イシマキガイ
<b>III. きたない水の生物</b> ミズムシ ミスカマキリ シマイシビル タニシ類 ○ イソコツブムシ類 ○ ニホンドリソコエビ	<b>IV. とてもきたない水の生物</b> コスリカ類 チョウバエ類 エラミミズ サカマキガイ アメリカザリガニ
<b>I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)</b> ヒゲナガカワトビケラ類 ニンギョウトビケラ類 タニガワカゲロウ類 チラカゲロウ	注) ○は汽水域の生物である。

## 調査状況

### ○水生生物の採集状況



### ○採集した水生生物の分類状況

